学校番号	３０８

平成３１年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編「書道Ⅱ」　（教育出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰの履修の成果を踏まえ、墨・紙・筆の協調に幅広く取り組みましょう。
・さまざまな書作品制作を通じ、表現力や鑑賞能力の更なる高まりと深まりをめざしましょう。
・自作および他の人の作品を鑑賞することにより、感性の伸長を図りましょう。

２　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して，生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし，書の伝統と文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5	篆書・隷書の学習	・篆書と隷書の鑑賞と臨書 逆入平出の用筆や重厚な線質と文字の構築性を理解する ・篆書、隷書による四字熟語創作作品の制作	○		○	○	a: 篆・隷書の美と表現方法に関心を持ち、意欲的に臨書に取り組んでいる。 b:字形や用筆の特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。 c:表現形式に応じて、全体の構成を工夫することができる。 d:、篆書、隷書の表現技法を理解し、さまざまな書のよさを味わっている。	観察 レポート ワークシート 提出作品
6	行書・草書の学習	・行書、草書の臨書と鑑賞 運筆の緩急を探りつつ、滑らかな用筆、運筆、抑揚を学びぶ	○	○		○	a: 行・草書の美と表現方法に関心を持ち、意欲的に臨書に取り組んでいる。 b:字形や用筆の特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。。 c:表現形式に応じて、全体の構成を工夫することができる。 d:行書、草書の表現技法を理解し、さまざまな書のよさを味わっている。	観察 レポート ワークシート 提出作品
6 7	楷書の学習 漢字1字創作	・楷書の臨書と鑑賞 楷書の構築性を学ぶ ・漢字一文字を「団扇」に載せる ・相互鑑賞会	○	○		○	a:書体（楷書・行書・草書・隷書・篆書）の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:楷書の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:全体構成に留意し、筆の弾力を利用する用筆方法を身に付けている。 d:代表的な古典を知り、そのよさや美しさを味わっている。	観察 レポート ワークシート 提出作品
8 9 10	漢字の書 漢字仮名交じり文の書	・書道コンクール応募作品の制作 各自の好む書体を選び漢字臨書作品、または、一年次に学習した仮名を交えての漢字かな交じりの書作品を制作する。		○	○	○	a:各書体（楷書・行書・草書・隷書・篆書・仮名）の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b: 各書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:全体構成に留意し、筆の弾力を利用する用筆方法を身に付けている。 d:代表的な古典を知り、そのよさや美しさを味わっている。	観察 レポート ワークシート 提出作品

11	創作作品制作	・「カレンダー」に書を載せる。 自身の好きな言葉を筆文字で表現し、カレンダーに仕上げる。 語句の選定、文字調べ、草稿作成、作品制作、押印、表具 ・自分の作品について工夫した点を振り返り発表 ・相互批評会	○		○	○	a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付けている。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 レポート ワークシート 提出作品
12	仮名の書	・連綿、、変体仮名、行書き、散らし書き ・短歌または俳句の書作品の創作 ・年賀状を書く	○	○		○	a:仮名の美（連綿、散らし書きなど）について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:仮名の基本的な表現方法を理解し、自らの意図に基づいて工夫している。 c:基礎的・基本的な連綿や散らし書きの技法を身に付け表している。 d:暮らしの中に書を生かすことを理解し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 レポート ワークシート 提出作品
1 2 3	色紙作品の制作	・色紙作品制作 語句の選定 文字調べ 草稿作成 半紙による作品制作後色紙への清書 押印 ・自分の作品について工夫した点やポイントを発表 ・相互批評会	○		○	○	a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 レポート ワークシート 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている..